

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

◇国際理解

- ・体験型授業の「何が起こった？」を実施した。自分がどこかの外国に移住し、言葉も文化もわからない、そんな中で地震が起きて被災した設定でどう行動するかを考える授業である。ポルトガル語のアナウンスやロシア語の表示に戸惑いながらも積極的に取りくめた。
- ・今年度は姉妹都市のミシガン州アナーバー市から2名の留学生を受け入れ、授業は全学級で交流をもった。各学級でエスコート生を決めその生徒が中心となり交流を深めた。放課後は生徒会紹介や剣道体験などを行った。
- ・オーストラリアブラックウッドハイスクールとの交流を行った。毎年、手紙の交換をし、3月にSkype交流を行った。

◇平和・人権

- ・毎月1回第3水曜日を「西中人権を考える日」とし、放送やプレゼンテーションソフトを用いて、日常生活の中の身近な人権問題に気付く感性を高め、人権意識の高揚を図った。感じたこと、思ったことを5行メッセージに書き、いくつかのメッセージを掲示し、放送で読み上げた。

◇環境

- ・5月30日の「ごみゼロの日」に合わせて「飛び出せ！西中ごみゼロ大作戦」と題して、生徒自身が清掃活動を行う場所をあらかじめ事前に調査し、整備委員を中心にどのような清掃活動を行うかを事前に話し合い、清掃活動に取り組んだ。本校は彦根城の内堀と中堀の間にありまた、琵琶湖も近いいため、城内公園の清掃や、観光スポットの銅像磨き、琵琶湖岸の清掃などにも取り組んだ。
- ・部活動生徒を中心に、彦根花火大会の翌日、ボランティアとして清掃活動を行った。早朝からの活動であるが、毎年3分の2以上の生徒が参加し、他の市民ボランティアの方々と共に琵琶湖岸の清掃を行った。

◇食育

- ・校区内の農場で地域の農業生産者の方から直接指導を受けながら農業体験を行った。トウモロコシの苗の定植、脇芽切り、防鳥ネットなどの設置などを通して命のつながり、地産地消と環境問題等について体験を通して学びあった。
- ・毎月19日の食育の日には、放送やプレゼンテーションソフトを用いて食の重要性、栄養、食事と脳の働きなど食と健康や学習との関連などを学んだ。

◇伝統文化

- ・美術科の授業で1年生は屏風のデザイン、2年生は和菓子のデザインとサンプルづくり、3年生は湖東焼きの抹茶茶碗づくりに取り組んだ。和菓子のデザインでよかったものを実際に和菓子屋さんに依頼して製作してもらい、茶道の先生に来ていただいて、茶道体験を行った。
- ・1年生で「彦根探訪」と題して、自分たちの住む彦根をもっと詳しく学ぶ学習をした。「彦根市の伝統産業には何があるか。」「彦根仏壇はどのように作られるのか。」などふるさと彦根を中心に様々な課題を生徒一人一人が見つめ、実際にその場へ行き、インタビューなどをして研究を深めた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）